

第8回 用瀬地域振興会議 日程

日 時 平成28年2月15日（月）
午後3時～
場 所 用瀬町民会館 2階会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議題・報告事項

(1) 公共施設再配置基本計画の策定について・・・・・・・・・・資料1

(2) 新市域振興ビジョンの進捗状況について・・・・・・・・・・資料2

(3) その他

4 地域振興への意見・提言（委員発表）

発表者：谷口委員

5 各課報告

6 次回日程について

開催予定日 4月 日（ ） 時

7 閉 会

平成28年2月

担当：財産経営課

電話：0857-20-3852

鳥取市公共施設再配置基本計画（仮称）の作成について

鳥取市は、社会的課題である「公共施設の更新問題」に対応し、“いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる鳥取市”の実現に向けて『新しい公共施設経営』に取り組んでいます。

昨年11月にお知らせしたとおり、現在は『鳥取市公共施設再配置基本計画（仮称）』の策定作業を進めており、このたび、計画“たたき台”を作成しました。

今後、本計画をさらに精査し、計画“素案”とした後、市民政策コメント（パブリックコメント）を募集することとしていますのでお知らせします。

記

1 計画“たたき台” 別紙のとおり

2 市民政策コメント募集期間

平成28年2月17日（水）～3月15日（火）

3 その他

(1) 本計画に掲載する「個別の建物（施設）について」は、決定事項ではありません。

※実際に更新や施設見直しを検討する際には、この計画をふまえて、より具体的な見直し方針や手法等について検討します。また、これまでどおり、地域住民や関係者等と協議・調整しつつ、事業化に向けた実施計画等の作成など進めていきます。

(2) 個別施設の方向性等についてご質問がある場合は、各施設の所管課にお問い合わせください。

●出前座談会

「公共施設の更新問題」等について、担当職員が出向いて説明し、意見交換する“出前座談会”を開催しています。

- ・対象：市内在住・在勤・在学のグループ（5人以上）
- ・会場：申込者が設定（申込者負担）
- ・時間：午前9時から午後8時までの間（1時間程度）

（詳細は、財産経営課へお問い合わせください。）

鳥取市の 公共施設の再配置 7つの質問

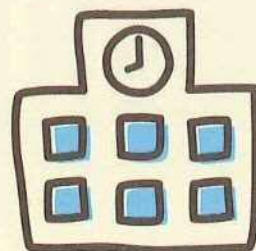
～わかりやすい 鳥取市の公共施設経営～



質問1 公共施設の再配置って、何のこと?

●公共施設とは

学校、公民館、保育園、図書館といった鳥取市が保有する公共サービスを提供する施設（公共建築物）のことをいいます。



●公共施設の再配置とは

今ある公共施設について、“サービス内容”や“規模”の必要性を検討します。

今後も必要なサービス（施設）であれば、それを維持・向上していくため、施設の建替えのみでなく、様々な手法を進めていくことを再配置といいます。

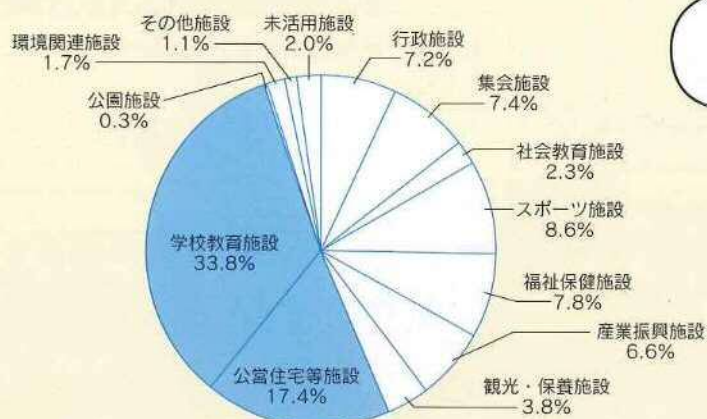
例えば、別々のサービスを提供していた複数の施設を一つの施設に集める『複合化』、運営主体や管理方法を変更する『民営化』、『統廃合』なども再配置の手法です。

質問2 公共施設って、どれくらいあるの?

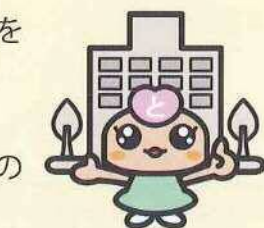
●鳥取市は、1,001施設、1,941棟、延床面積約90万㎡の公共施設（水道、病院を除く建物）を保有しています。

●市民1人あたりで計算すると、約4.65㎡の施設を保有していて、全国平均の約3.42㎡の1.4倍となります。

●施設分類別の延床面積の割合



延床面積のうち、約半分は学校と公営住宅なんだね。



(2014年2月 鳥取市公共施設白書より)

質問3

なぜ、今、再配置が必要なの？

- 「人口推計」、「公共施設の老朽化」及び「財政状況」の3点から、今から公共施設の再配置（経営）に取り組むことが必要と考えています。

●人口推計

鳥取市の人口は2005年をピークに減少に転じ、今後も減っていきます。



人口が減っていけば、施設利用者は減るよね。
少子高齢化による年齢構成の変化で求められる施設も変わるし、将来を見据えて、施設のあり方を考えることが重要だよ。



(鳥取市人口ビジョンより)

●公共施設の老朽化

高度経済成長期以降、人口の増加にあわせるように、多くの公共施設を建設しており、それらの施設の老朽化が進んでいます。



同じような時期に建設したから、建替え（更新）が必要となる時期も重なるってことか。
ほっとくと危ないし…これから多額の更新費用が必要となりそうだね。



●財政状況

扶助費（社会福祉に要する経費）の割合が増え、公共施設の更新などに充てられる費用の確保が難しくなっています。



高齢化の影響もあって扶助費が増えているんだね。
人口（特に生産年齢人口）の減少に伴って、税収入等が減るって聞いたし、財政状況は厳しいね。

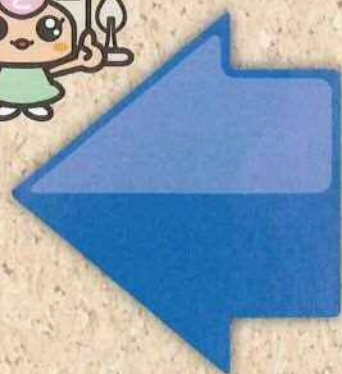


「人口減少・少子高齢社会による人口構成の変化」
「施設更新時期の集中によって発生する多額の建替え費用」
「限られた財源と、扶助費の増大等による財政需要の変化」

といった課題により、『今ある』施設を『今ある』場所で、
『今ある』カタチ（規模）で保有し続けることが見直されているよ。
これは全国の自治体共通の課題で、『**公共施設の更新問題**』*

と呼ばれているんだ。

※更新…施設を建替え・大規模改修すること



だから

必要な施設（サービス）を維持し、
みんなの生活を支えるために、
公共施設の再配置を行う必要があるんだね！



将来を見据えて『今』考えることで、
みんなが住みやすいまちづくりにもつながるね！



質問4 施設の更新費用は確保できるの？

- 鳥取市の試算では、全ての施設を保有し続けるために必要な更新費用は、1年あたり約66億円（今後50年間の平均）です。現在の財政状況から考えると、全ての公共施設を更新する費用を確保していくことは難しいと考えています。
- 鳥取市では必要な施設（サービス）を維持するために再配置に取り組み、今後40年間で施設の約29%（延床面積基準）を縮減する目標を立てました。

質問5 市民や利用者の意見はどのように聞くの？

- 現在は、再配置の全体計画（方針）を検討している段階です。具体的な事業の検討や実施にあたっては、施設用途や規模に応じて、意見交換会や説明会を開催し、市民の皆さんや利用者の方々の意見を伺います。

みんなの意見で
より良い施設を！

再配置に
向けた全体
計画の策定

建物の
建替時期
が近づく

説明を実施
意見を伺う

事業計画(案)
の検討

事業計画
の確定

設計
・
工事

完成



(イメージ)

質問6

再配置を進めると公共施設はどうなるの？

- 再配置によって効果的な施設の更新が進むことで、施設をより快適・安全に利用することができます。
- 複数のサービスが一つの施設に入れば、一つの施設で複数のサービスが受けられるとともに、利便性が向上します。また、様々な利用者による新たな交流・コミュニティが生まれるきっかけになります。
- 施設が減少することで、更新や維持管理にかかるコストが削減されます。
- 施設の有効活用を進めることで、地域活性化や収入増などにつながります。
- 施設の利用方法や位置等が、今までと異なることで不便を感じる可能性もあります。



メリットの方が
多い気がするね！

質問7

建物以外の道路や上下水道などはどうするの？

- 道路や上下水道、橋りょうといったインフラも、更新問題があります。長期的な視点をもって、計画的な対応を図っていきます。

- ・それぞれのインフラについて、計画的な修繕や長寿命化に向けた計画が策定され、公共建築物と同様に適正管理の取り組みを進めています。
- ・公共建築物とインフラを対象とした「鳥取市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等全体を管理する仕組みを作っています。



- 財産経営課では、公共建築物に関して、次の方針・計画等を策定・公表しています。

- ・鳥取市公共施設白書
- ・鳥取市公共施設の経営基本方針
- ・鳥取市公共施設等総合管理計画
- ・鳥取市公共施設再配置基本計画（仮称）
→再配置基本計画は作成中です。



公共施設の再配置は、公共サービス・市民生活を守りつつ、鳥取市を次世代に健全な状態で引き継ぐための取り組みです。みんなで創意工夫して『公共施設の更新問題』を乗り越えていきましょう！

※ご希望に応じて出前座談会を受け付けています。
※詳細は、鳥取市公式ウェブサイトをご覧ください。

鳥取市 総務部 総務調整監 財産経営課
〒680-0845 鳥取市富安二丁目138-4
電話 0857-20-3852
E-mail : zaisankanri@city.tottori.lg.jp



7. 「鳥取市新地域振興ビジョン」推進計画 一覧表

総合支所	項目番号	項目名	頁
国府町	①	観光資源・特産品を活かしたまちづくり	1
	②	農地保全と農業振興	2
	③	自治組織の強化	3
	④	市有財産の適切な管理と有効活用	4
	⑤	環境対策	5
	⑥	安全に安心して暮らせる、住みたいまち・住んでよかつたといわれるまち「万葉のふるさと 国府」	6
福部町	①	防災対策	7
	②	産業・観光振興	8
	③	交通対策	9
	④	教育のあり方	10
河原町	①	協働による防犯対策の推進	11
	②	農業の振興と有害鳥獣対策の推進	12
	③	企業誘致の推進と移住定住の促進(若者の流入・定住促進)	13
	④	子育て・教育環境の充実	14
	⑤	観光振興に伴う交流人口の増	15
用瀬町	①	地域生活拠点の整備推進	16
	②	林業の振興	17
	③	商工業の振興	18
	④	観光の振興	19
	⑤	鳥取自動車道用瀬ICの活用対策	20
	⑥	地域福祉ネットワークの充実	21
	⑦	自然や歴史・文化を大切にした魅力あるまちづくり	22
	⑧	農業振興	23
佐治町	①	子育て・教育環境の充実	24
	②	地域医療の確保による保健、医療、福祉の連携強化	25
	③	交通弱者対策と交通の利便性の確保	26
	④	住環境の充実促進・定住対策	27
	⑤	「5つの資源」を生かした地域振興	28
	⑥	産業振興〔農林業の振興〕	29
	⑦	産業振興〔和紙産業の振興〕	30
	⑧	地域防災力の充実〔地域共通課題〕	31
気高町	①	交流のまちづくり	32
	②	新しい風のまちづくり	33
	③	地域産業のまちづくり	34
	④	教育のまちづくり	35
	⑤	安心・安全のまちづくり	36
鹿野町	①	地場産業の振興	37
	②	文化・芸術の推進	38
	③	交流人口の増加	39
	④	移住・定住の促進	40
	⑤	教育環境の充実	41
青谷町	①	地域コミュニティの増進、活力のあるまちづくり	42
	②	地域資源の有効活用による、魅力あるまちづくり	43
	③	安心・安全なまちづくり	44

「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況(H28. 2時点)

総合支所名	用瀬町	8項目-①
項目名	地域生活拠点の整備推進	
現状と課題等	本市が「多極型のコンパクトなまちづくり」を推進する中において新市域では最初の「地域生活拠点再生整備事業」が実施されています。今後JR用瀬駅と国道を結ぶ跨線橋の整備JR利用者と近隣住民が集う駅前広場の整備中心地を流れる瀬戸川沿いの歩道照明の設置街なみ形成ガイドラインによる街なみ修景や案内サインの整備など整備計画に基づく事業を着実に推進し“安全で安心して暮らせ公共交通が充実した魅力的な用瀬町の実現”に向けた取組を推進します。	

項目名	事業概要	目標	推進期間					関係課 関係団体等	
			短期		中期	長期			
			～29年度	担当課	H26実施内容	H27実施内容	～31年度		～35年度
地域生活拠点 の整備推進	安全・安心で暮 らしやすい魅力 ある地域生活拠 点の再生を図る	地域生活拠点再生 整備事業の推進	平成26年度事業 終了 (一部繰越)	用瀬町総 合支所	<ul style="list-style-type: none"> ○跨線橋の整備 ○駅前広場の整備 ○歩道整備の設置 ○公共案内サインの整備等 	<ul style="list-style-type: none"> ○瀬戸川改修工事の実施 <p>事業完了</p>			都市企画課 南工事事務所
		賑わいの創出 【ビジットとつとりの 展開】	○関係者関係団体 等との協議・検討	用瀬町総 合支所	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家、空き地を使った賑わいの 創出への取り組み支援 ・流しびな行事での休憩所設置 (用瀬魅力工房) ・トトリ式屋台楽宴の開催 (楽宴プロジェクト・鳥取大学・ 用瀬魅力工房) 	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家、空き地を使った賑わいの 創出への取り組み支援 ・流しびな行事での休憩所設置 (用瀬魅力工房) ・トトリ式屋台楽宴×横丁さんぼ 市の開催 (用瀬宿活性化委員会・楽宴プロ ジェクト・鳥取大学・用瀬魅力工 房・鳥取環境大学) ○地元祭りへの支援 お山さんへの鳥大屋台部参加 ○江波三番叟ツアーの実施支援 	○協議検討結 果に基づく事 業またはイベ ントの実施等	○協議検討結 果に基づく事 業またはイベ ントの実施等	中山間地域振 興課 観光コンベンション 推進課 地域関係団体
		移住・定住者の 増加 【移住・定住の 促進】	○空き家の実態調 査による移住・定住 希望者への情報提 供団体の育成	用瀬町総 合支所	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家の実態調査 ○空き家バンク登録への意向確認 等の実施 ○利用希望者とのマッチング支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家の実態調査 ○空き家バンク登録への意向確認 等の実施 ○利用希望者とのマッチング支援 ○情報提供団体設置に向けた協議 	○団体の支援	○団体の支援	建築住宅課 中山間地域振 興課
		鳥取市南部地域 バス路線再編に 伴う支線の充実 を図る	用瀬循環線の充実 【公共交通の確保】	○乗り合いタクシー の購入による用瀬 循環線の充実	用瀬町総 合支所	<ul style="list-style-type: none"> ○バス路線再編に伴う周知徹底及 び利用促進 ○乗り合いタクシー1台配置、運用 開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○乗り合いタクシー1台運用 		

「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況(H28. 2時点)

総合支所名	用瀬町	8項目-②
項目名	林業の振興	
現状と課題等	林野が本町の面積の90%以上を占める中林業は農業以上に高齢化・後継者問題が深刻で地域住民と森林との関わりが希薄化しつつあり水源のかん養山地災害の防止生活環境の保全生物多様性の保全など森林の有する多面的機能の維持が困難となっています。「水土保全林」「森林と人との共生林」「資源の循環利用林」としての整備を進めることとあわせ森林基幹道の早期完成を図り林業団体等の支援や林業経営の合理化と効率化を促進します。	

項目名	事業概要	目標	推進期間					関係課 関係団体等	
			短期		中期	長期			
			~29年度	担当課	H26実施内容	H27実施内容	~31年度		~35年度
林業の振興	水土保全林森林と人との共生林または資源の循環利用林としての整備を進めることとあわせ林業団体等の育成による山を守る取り組みや林業経営の合理化と効率化を促進する	森林の有する多面的機能の維持【農林水産業の振興】	○里山保全活動などの取り組みの支援 ○地域参加の意識の醸成	用瀬町総合支所	○森林の保全活動への支援 ・市行造林地の間伐実施(江波) ・造林補助事業の実施	○森林の保全活動への支援 ・市行造林地の間伐実施地の現地調査(美成、別府) ・造林補助事業の実施	○里山交流事業の展開	○里山交流事業の展開	林務水産課 地域保全活動団体 鳥取県緑化推進委員会
		林業団体林業経営者の育成【農林水産業の振興】	○関係者による林業経営に向けた検討・協議		○森林組合、林業事業者との協議	○協議結果に基づく実施の支援	○協議結果に基づく実施の支援	林務水産課 地域保全活動団体 鳥取県緑化推進委員会	

「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況(H28. 2時点)

総合支所名	用瀬町	8項目-③
項目名	商工業の振興	
現状と課題等	町内の小規模事業所は経済の構造的変化に伴う空洞化公共事業の減少や景気回復の遅れをまともに受け業績の低迷や厳しい雇用状況が続いています。雇用の安定や拡大を図るために新規商品の開発や販路の拡大新規分野への取組など地場産業を育成し支援します。 また誘致企業への継続的支援と町内の遊休地などへの新たな企業誘致の環境を整える取組をします。	

項目名	事業概要	目標	推進期間						関係課 関係団体等
			短期			中期	長期		
			~29年度	担当課	H26実施内容	H27実施内容	~31年度		
商工業の振興	地場産業の育成・支援と誘致企業への継続的支援町内遊休地への新たな企業誘致・進出への環境を整える	新規企業誘致による新規雇用の拡大【工業の振興】	○遊休地などの情報提供		○遊休地などの情報収集	○遊休地などの情報提供(1件) 市企業立地・支援課に情報提供し 現地視察。 ○遊休地などの情報収集	○遊休地などの情報提供新規企業の誘致	○遊休地などの情報提供新規企業の誘致	企業立地・支援課

「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況(H28. 2時点)

総合支所名	用瀬町	8項目-④
項目名	観光の振興	
現状と課題等	<p>本町には赤波川渓谷おう穴群中津美渓谷や不動滝三角山・洗足山・籠山など貴重で豊かな自然景観と流しびなに代表される文化景石城跡など貴重な歴史資産が数多くありこれらの貴重で個性のある自然を利用した「観光的自然体験」を提供できる環境の整備に努め里山交流や観光による地域づくりを推進しているところです。</p> <p>三角山から洗足山系は登山愛好者からはその急峻な山姿から別名「用瀬アルプス」の愛称で呼ばれ登山意欲を湧かせる山として人気を博しており麓の赤波川渓谷おう穴群とあわせ新たな観光資源として遊歩道・登山道などを地域団体などと協働して取組めます。</p> <p>また住民の誇りとなっている「流しびな行事」の一層の充実と「流しびなの館」「観光物産センター」と上方往来の風情を残す「用瀬宿の町並み」を活用した地域づくりの活性化を図ります。</p>	

項目名	事業概要	目標	推進期間					関係課 関係団体等	
			短期		中期	長期			
			～29年度	担当課	H26実施内容	H27実施内容	～31年度		～35年度
観光の振興	<p>新たな観光資源としての遊歩道や登山道の整備 豊かな自然景観と貴重な歴史資産を利用した里山交流や上方往来の風情を残す町並みを活用した地域づくりを推進する</p>	流しびなの里をめぐるエコツーリズムの推進	用瀬町総合支所	<ul style="list-style-type: none"> ○団体の育成道標・ガイドマップの作成等地域おこし協力隊員の募集各種情報発信等 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係団体との協議・調整 ○エコツーリズム連絡会の設置支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○エコツーリズム連絡会の開催 ○国土地理院による地域連携調査の実施 ○用瀬山系トレイル大会の開催 ○パンフレットの作成 ○地域おこし協力隊員の配置 	○交流事業の実施	○交流事業の実施	中山間地域振興課 新市域振興監 観光コンベンション推進課 鳥取県環境保全団体等県緑化推進委員会
		【環境保全活動の推進】 【ビジットとつとりの展開】	用瀬町総合支所	<ul style="list-style-type: none"> ○登山道の整備維持管理案内看板等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊歩道・登山道の整備維持管理関係団体との連携、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○遊歩道・登山道の整備維持管理エコツーリズム連絡会(7団体)で実施 	○ビジターセンター便所東屋(避難所)等の整備	○施設登山道の維持管理等	中山間地域振興課 新市域振興監 林務水産課 環境保全団体等県緑化推進委員会
		流しびな行事の充実に向けた取り組みの推進 【ビジットとつとりの展開】	用瀬町総合支所	<ul style="list-style-type: none"> ○行事の充実に向けた取り組みへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○流しびな行事への支援 流しびな実行委員会への参画 行事実施の支援 (4月2日開催、8,000人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○流しびな行事への支援 流しびな実行委員会への参画 行事実施の支援 (4月21日開催、5,500人) 	○行事の充実に向けた取り組みへの支援	○行事の充実に向けた取り組みへの支援	観光コンベンション推進課 流しびな実行委員会

「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況(H28. 2時点)

総合支所名	用瀬町	8項目-⑤
項目名	鳥取自動車道用瀬ICの活用対策	
現状と課題等	鳥取自動車道の開通により関西圏からの観光客が増加しており用瀬ICの利用者も多くなっておりこうした現状を踏まえ本市南部地域の観光案内表示や本町で取組が進んでいる特産品の販売など地域資源のPRや地域活性化につなげる活動を推進します。	

項目名	事業概要	目標	推進期間						関係課 関係団体等
			短期			中期	長期		
			~29年度	担当課	H26実施内容	H27実施内容	~31年度		
鳥取自動車道 用瀬ICの 活用対策	鳥取市南部地域の観光案内の表示や青空市の設置などによる地域活性化の推進	観光公共サインの整備 【ピジットとつとりの展開】	○観光公共サインの整備	用瀬町総合支所	○整備方法について国土交通省と協議。	○OPA内情報掲示板の設置協議 支所及び都市企画課、国土交通省鳥取工事事務所で協議。国土交通省鳥取工事事務所で設置の方向で調整中。			都市企画課 国土交通省
		青空市の設置 【農林水産業の振興】	○青空市の設置	用瀬町総合支所	○実施方法について国土交通省、地元代表者と協議。	○用瀬PA利活用協議会の設置 ○用瀬PAを活用した農産物等の販売に向けた協議	○直売所の設置	○直売所の設置	農村整備課 都市企画課 国土交通省 地域関係団体

「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況(H28. 2時点)

総合支所名	用瀬町	8項目-⑥
項目名	地域福祉ネットワークの充実	
現状と課題等	地域住民に分かりやすく実感できる地域福祉の体制づくりとして 用瀬町社会福祉協議会を中心に「用瀬町福祉のまちづくり計画」が策定され高齢者障がい者などが安全・安心に暮らせるよう施策の実施が検討されており今後地域の住民組織と連携を図り地域支援ネットワークを構築して包括的な見守り支援体制を強化します。	

項目名	事業概要	目標	推進期間					関係課 関係団体等	
			短期		中期	長期			
			～29年度	担当課	H26実施内容	H27実施内容	～31年度		～35年度
地域福祉ネットワークの充実	用瀬町福祉のまちづくり計画に基づく事業の実施	包括的支援体制の強化に向けた取り組みへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の福祉学習実施に係る調整 ○ネットワーク構築に係る会議への参画 ○ふれあいサロン創設の支援等 	用瀬町総合支所	<ul style="list-style-type: none"> ○用瀬町福祉のまちづくり計画運営委員会への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ○用瀬町福祉のまちづくり計画運営委員会への参画 ○各集落単位の「ひなネット」構築に係る会議への参画 ○ふれあいサロン「ひなの里」への保育園、小学校の参加支援 <ul style="list-style-type: none"> ・3保育園 各2回づつ ・用瀬小3年生 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の福祉学習実施に係る調整 ○ネットワーク構築に係る会議への参画 ○ふれあいサロン創設の支援等 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の福祉学習実施に係る調整 ○ネットワーク構築に係る会議への参画 ○ふれあいサロン創設の支援等 	高齢社会課 障がい福祉課 鳥取南地域包括支援センター 鳥取大学 用瀬町社会福祉協議会 民生児童委員 地域医療機関等

「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況(H28. 2時点)

総合支所名	用瀬町	8項目-⑦
項目名	自然や歴史・文化を大切にしたい魅力あるまちづくり	
現状と課題等	地域住民の文化・芸術の振興を図るとともに若者の定住促進を進め魅力ある地域づくりを促進します。	

項目名	事業概要	目標	推進期間					関係課 関係団体等	
			短期		中期	長期			
			～29年度	担当課	H26実施内容	H27実施内容	～31年度		～35年度
自然や歴史・文化を大切にしたい魅力あるまちづくり	地域住民の文化・芸術の振興を図るとともに若者定住促進等による魅力ある地域づくりを推進する	地域資源を活用したまちづくりの実施	○中山間地域強化方針に盛り込まれた事業の実施に向けた集落別検討	用瀬町総合支所	○輝く中山間地域創出モデル事業(計画づくり、ソフト事業)の実施支援 屋住地域協議会(ソフト) 用瀬魅力工房(計画) 用瀬宿活性化委員会(計画)	○輝く中山間地域創出モデル事業(計画づくり、ソフト事業)の実施支援 用瀬宿活性化委員会(ソフト) 別府集落(計画・ソフト) ○実施に向けた協議 江波すずらん会、別府集落	○事業の実施	○事業の実施	中山間地域振興課
		【生活基盤の充実】 【ビジットととりの展開】	○用瀬地域活性化推進事業及び地域振興事業等の見直しと新たな事業の検討	用瀬町総合支所	○地域活性化推進事業 洗足山遊歩道整備作業(洗足山遊歩隊) 三角山周辺遊歩道整備作業(用瀬町上方往来街並活用協議会) おう穴整備(駐車場整備)作業(おう穴愛護会) 中津美の滝整備事業(中津美渓流を守る会)	○地域活性化推進事業 洗足山遊歩道整備作業(洗足山遊歩隊) おう穴整備(駐車場整備)作業(おう穴愛護会) 中津美の滝整備事業(中津美渓流を守る会) 三角山周辺遊歩道(一ノ谷公園ルート)整備作業(一ノ会) ○用瀬まちづくりの会設立に向けた取り組み支援	○用瀬地域活性化推進事業及び地域振興事業等の見直しと新たな事業の検討	○用瀬地域活性化推進事業及び地域振興事業等の見直しと新たな事業の検討	中山間地域振興課 県土整備部 地域関係団体
		地域住民の文化・芸術の振興	○生誕100年記念事業の実施など顕彰会事業実施の協議及び支援	用瀬町総合支所	○顕彰事業の実施 特別回顧展の実施(市内ギャラリー) 作品図録の制作 地元での展示実施(佐治中央公民館) ○児童生徒芸術交流事業の実施 用瀬小、佐治小、千代南中で実施 ふれあい祭りでの作品展示	○生誕100年記念事業の実施 特別展及び式典の実施(県立博物館) 作品図録の出版 地元での展示実施(大村地区公民館) ○児童生徒芸術交流事業の実施 用瀬小、佐治小、千代南中で実施 ふれあい祭りでの作品展示	○顕彰会事業実施の協議及び支援	○顕彰会事業実施の協議及び支援	文化芸術推進課 鳥取県立博物館 前田直衛顕彰会
		【文化芸術の振興】	○地域の伝統芸能継承活動の支援等	用瀬町総合支所	○地域伝統行事の情報発信支援 広報、HPでの情報発信	○江波三番叟ツアーの実施支援 H27.10.18 参加者22名 ○地域伝統行事の情報発信支援 広報、HPでの情報発信	○地域の伝統芸能継承活動の支援等	○地域の伝統芸能継承活動の支援等	課 観光コンベンション推進課 地域の関係団体

「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗状況(H28. 2時点)

総合支所名	用瀬町	8項目-⑧
項目名	農業の振興	
現状と課題等	地域の特性にあった農産物生産のための施設整備等や販売拡大の取り組みを支援し特産品化・ブランド化を進めるとともに農地・農業用施設など農産物生産基盤の整備・維持管理を図り集落営農の組織化・法人化認定農業者の育成新規就農者の研修を支援し農業の担い手を確保します。	

項目名	事業概要	目標	推進期間						関係課 関係団体等
			短期			中期	長期		
			～29年度	担当課	H26実施内容	H27実施内容	～31年度		
農業の振興	地域の特性にあった農産物生産のための施設整備等や販売拡大の取り組みを支援し特産品化・ブランド化を進めるとともに農地・農業用施設など農産物生産基盤の整備・維持管理を図る。また集落営農の組織化・法人化認定農業者の育成新規就農者の研修を支援し担い手の確保に努める	農業の再生と振興		用瀬町総合支所	○農作業受委託の推進	○用瀬町農業を考える会の開催 情報の共有 農業の担い手育成を検討	○生産法人化に向けた取り組みの展開 ○農業担い手の育成 ○新規就農者への支援	○地域ブランド作物の定着と安定した農業生産販売の確保	農業振興課 鳥取県東部農林事務所 鳥取いなば農業協同組合 グリーンもちがせなど
		農産物のブランド化の推進			○農業関係団体との協議地域加工グループ及び農業団体の育成・支援等	○特産米の栽培に向け農業団体と協議 ○農業再生協議会の開催 ○用瀬ファームの設立に向けた取り組み支援	○販路拡大に向けた取組の支援	○販路拡大に向けた取組の支援	農業振興課 鳥取県東部農林事務所 鳥取いなば農業協同組合 グリーンもちがせなど

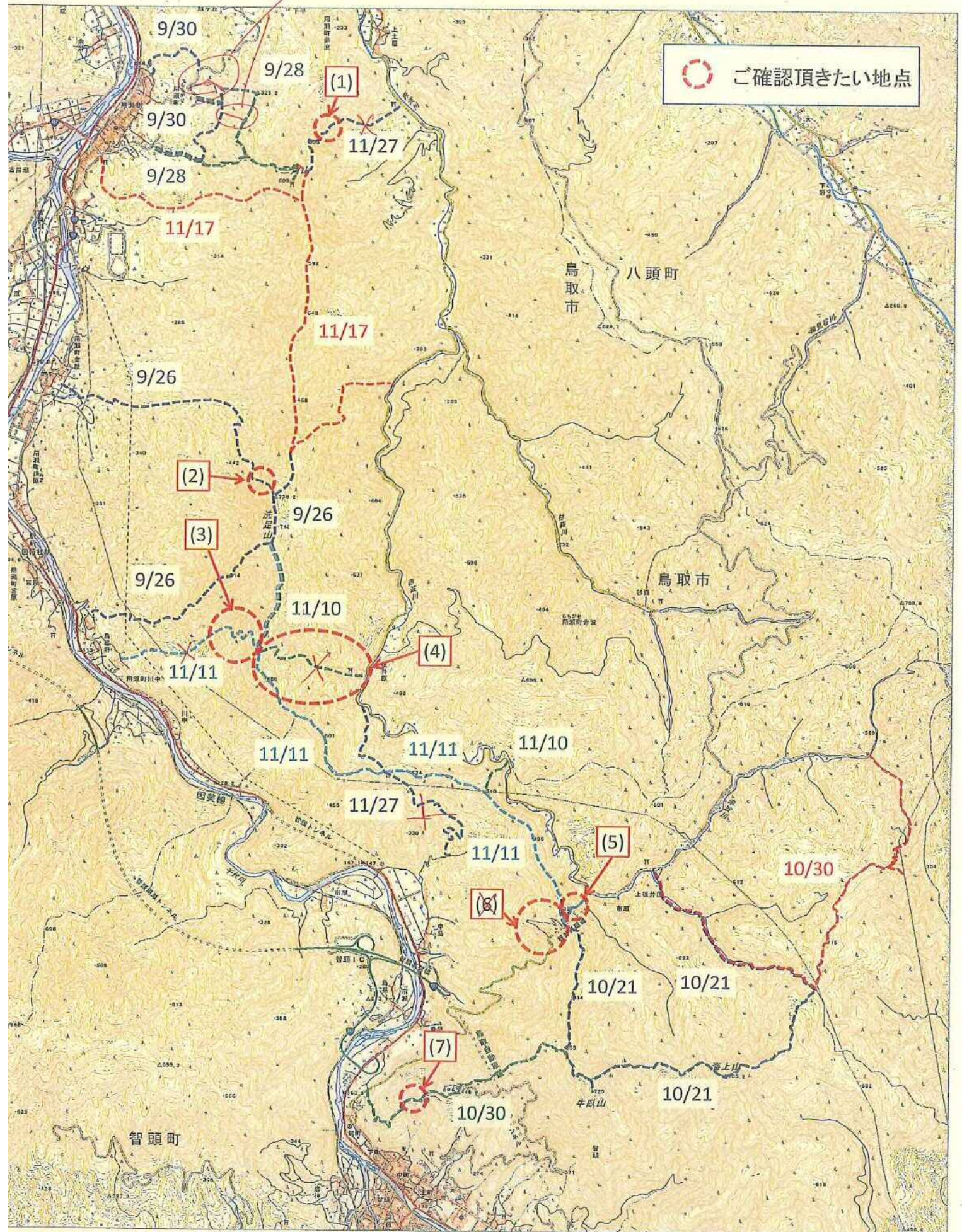
H27年度 お試し定住施設 利用実績(用瀬)

	日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B)/(A)	内訳		
				人数(人)	住所	期間
H27.4	30	5	17%	3	東京都文京区	4/24~28の 5日間
		1	3%	4	滋賀県守山市	4/30~5/04の 5日間
H27.5	31	4	13%		"	同上
		5	16%	1	岐阜県岐阜市	5/17~5/21の 5日間
H27.6	30	1	3%	2	大阪府寝屋川市	6/30~7/05の 6日間
H27.7	31	5	16%		"	同上
			0%			
H27.8	31	3	10%	1	神奈川県伊勢原市	8/06~8/08の 3日間
		10	32%	4	埼玉県埼玉市	8/19~8/28の 10日間
8月末(4~8月)	153	34	22%	15		
H27.9	30	7	23%	3	大阪府寝屋川市	9/19~9/25の 7日間
		1	3%	2	大阪府箕面市	9/30~11/29の 61日間
H27.10	31	31	100%		"	同上
H27.11	30	29	94%		"	同上
H27.12	31	6	19%	1	京都府船井郡京丹波町	12/23~1/6の 15日間
12月末 (9~12月)	122	74	61%	6		
H28.1	31	6	19%		"	同上
		17	55%	1	東京都江東区大島	1/15~2/26の 43日間
H28.2	28	26	93%		"	同上
H28.3	31	3	10%	6	奈良県奈良市	3/9~ 3日間
			0%			
3月末 (1~現時点)	90	52		7		
H27年度累計 (現時点)	365	160	43.8%	28		

国土地理院地図公開 2月18日

12/11

○ ご確認頂きたい地点



“日本一のボランティア先進県”

～最少の人数で最大の社会貢献～

鳥取県×日本財団 共同プロジェクト

プロジェクトコンセプト

“日本一のボランティア先進県” ～最少の人数で最大の社会貢献～

あいサポート運動をはじめとして、鳥取県には以前より「みんなが支え合う」、「他者をいたわり、思いやる」風土があります。

このような土壌のある中で、今回鳥取県と日本財団では、県民一人一人が県の未来を考え動いていける、誇りを持てる、そのような意味を含めて、「日本一のボランティア先進県」を目指したプロジェクトを実施することとなりました。

行政やNPOをはじめとして、地域課題の解決に取り組まれている方々の人材育成や助成プログラムの展開、さらに必要に応じた拠点の整備等を行っていきます。

こうした取り組みを通して、人口が少ない中であっても、地域社会への貢献を最大限に行える県を目指していきます。

みんなが支え合う社会づくり

1. 中山間地域の生活支援
 “住み慣れた地域での生活”を守る
2. 住民参加型の健康づくり
 “健康寿命日本一”
3. 難病の子供と家族の地域生活支援
 “福祉・医療・教育の連携”

みんなが活躍できる社会づくり

4. 競技場のバリアフリー化
 “障がい者スポーツの拠点”になる
5. タクシーのユニバーサルデザイン化
 “地域交通のモデル”をつくる
6. 働く障がい者を増やす
 “工賃3倍”から産業の担い手づくり

プロジェクトの推進

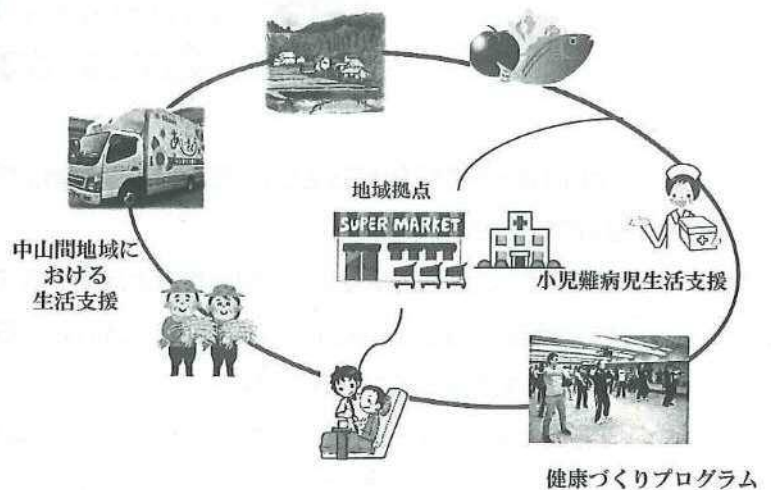
7. 日本財団 鳥取人材育成プログラム “将来の担い手・リーダーを育てる”
8. 日本財団 鳥取助成プログラム “優れた活動の次のステージを応援”
9. 情報発信 “県の魅力の再発見・価値の創造”

みんなが支え合う社会づくり

日本全体で、今後人口が減少し超高齢社会を迎えるなかで、誰もが安心して豊かに暮らせる社会の実現を目指します。

地域医療や生活支援サービスの展開、日常的に無理なくできる運動や体操を通じた健康づくりプログラムの推進、難病の子どもやその家族を支えるための福祉と医療の垣根を越えた地域医療の新しい体制づくり、これらの事業を、地域住民やNPO、医療関係機関等と連携しながら、「みんなが支え合う」社会の実現に向けた取り組みを進めます。

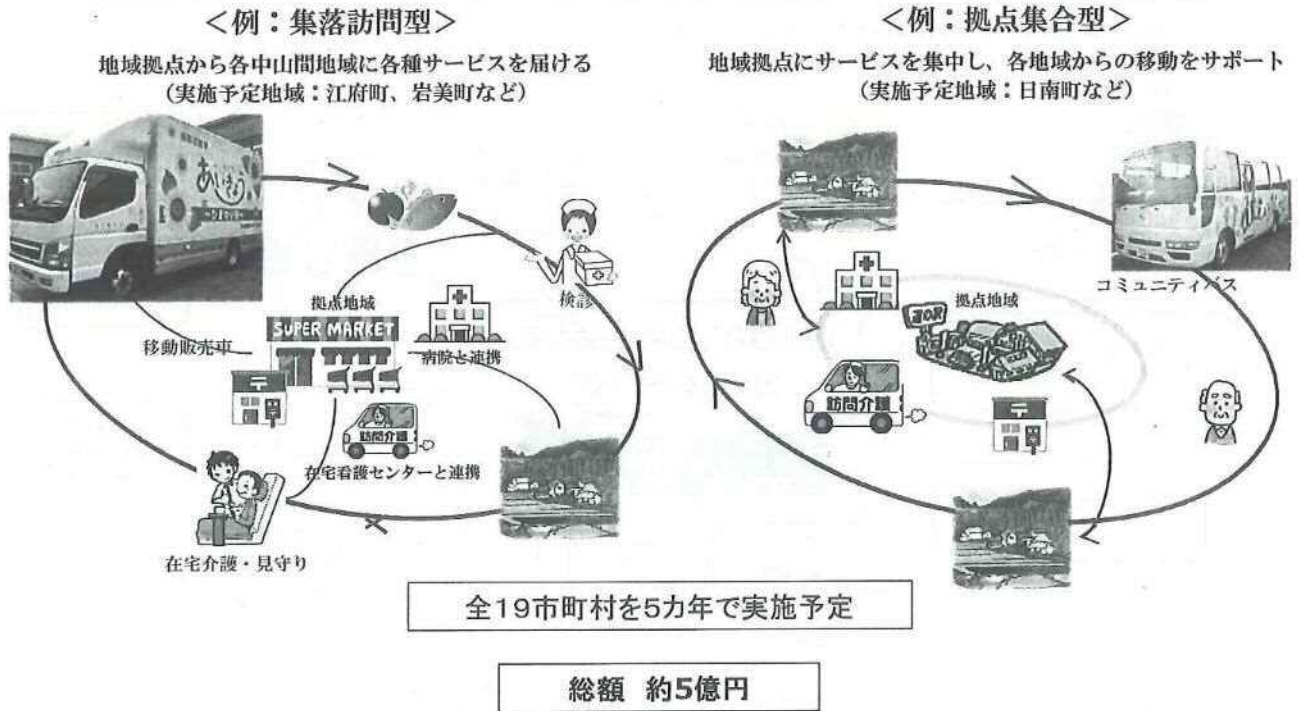
(総事業規模:約8.5億円/5年間)



1. “住み慣れた地域での生活”を守る 中山間地域の生活支援

みんなが支え合う社会づくり

事業者が撤退し、生活に必要なサービスが不足している中山間地域に対し、各地域のニーズに合わせたオリジナルの生活支援サービスを構築（3地域でモデルづくり）



2. “健康寿命日本一” 住民参加型の健康づくり

みんなが支え合う社会づくり

住民参加型のスポーツイベントの開催と定期的な運動プログラムへの参加により、地域住民の健康寿命の引き上げを狙う。



B&G財団海洋センターをはじめ、各市町村で定期的な運動・体操プログラムを実施



全国自治体対抗によるスポーツイベントに参加



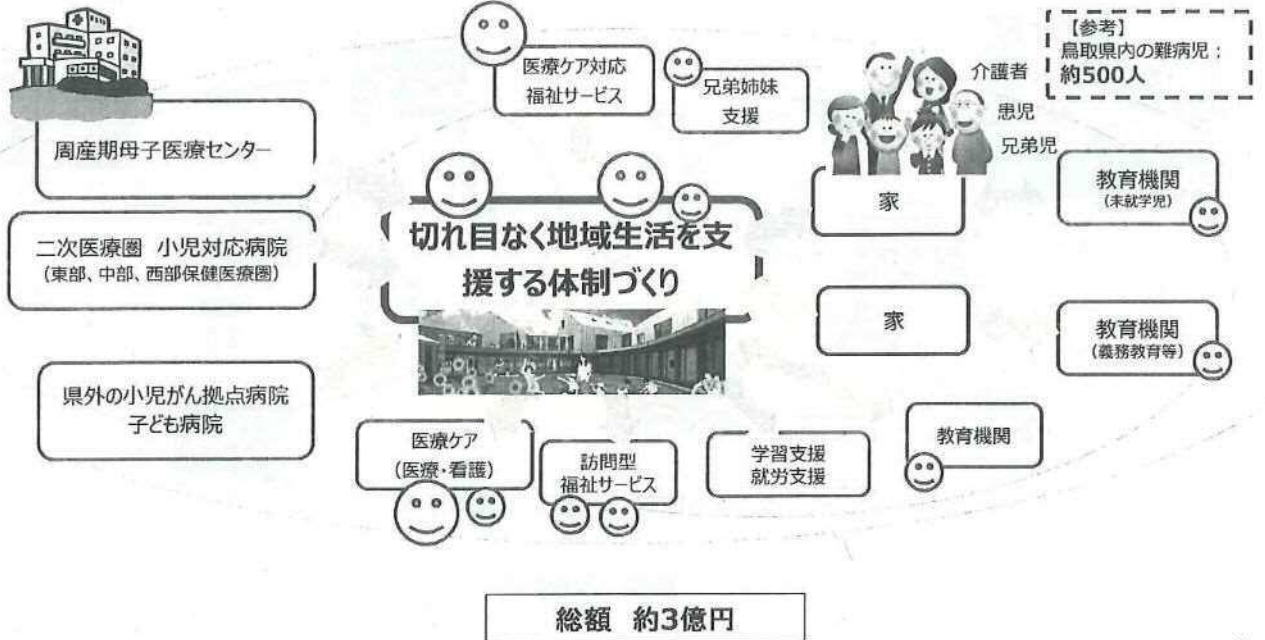
約5年をかけて、運動・体操プログラムへの参加率を高めていく

総額 約0.5億円

3. “福祉・医療・教育の連携” 難病の子どもと家族の地域生活支援

難病の子どもと家族への支援体制をつくり、病院からのスムーズな移行と地域での生活を支える

- ・子どもの成長にあわせた切れ目ない支援サービスを提供し、孤立感・不安感を解消。
- ・多職種が連携しながら、福祉、医療、教育、就労といった領域の垣根を超え、子どもや親、兄弟姉妹が不安なく暮らせる子育て王国鳥取県を実現。



6

みんなが活躍できる社会づくり

障がいを抱えていても、健常者と同じようにスポーツで活躍できる。仕事でも活躍できる。行きたい場所に行きたいと思った時に不自由なく行くことができ、活動することができる。そのような「みんなが活躍できる社会」の実現を目指し、タクシーをはじめとした移動手段のユニバーサルデザイン化や、障がい者スポーツの振興や就労支援プログラムを実施します。

(総事業規模：約15億円/5年間)



タクシーなどのユニバーサルデザイン化



日本一の障がい者スポーツの拠点



活躍する障がい者を増やす

7

4. “障がい者スポーツの拠点になる” 競技場のバリアフリー化

健常者と障がい者が一体となってスポーツ推進を担っている唯一の県という案地を活かし、障がい者スポーツの先進地を目指す



布勢運動公園

更なるバリアフリー化

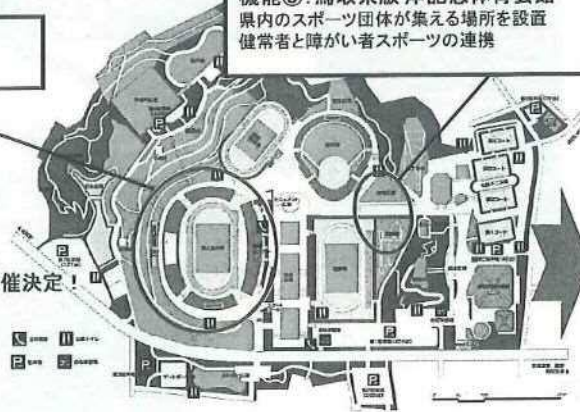
陸上競技場電光掲示板
聴覚障がい者対応

新規拠点を新たに建設

機能①: 鳥取県版 代々木オリンピックセンター
合宿拠点施設(100人規模)

機能②: 鳥取県版 国立スポーツ科学センター
医科学センター兼トレーニングルームを設置
リハビリから障がい者スポーツへ

機能③: 鳥取県版 岸記念体育会館
県内のスポーツ団体が集える場所を設置
健常者と障がい者スポーツの連携



2016年4月30日～5月1日
日本パラ陸上競技選手権大会が開催決定!
大阪以外では初の開催!

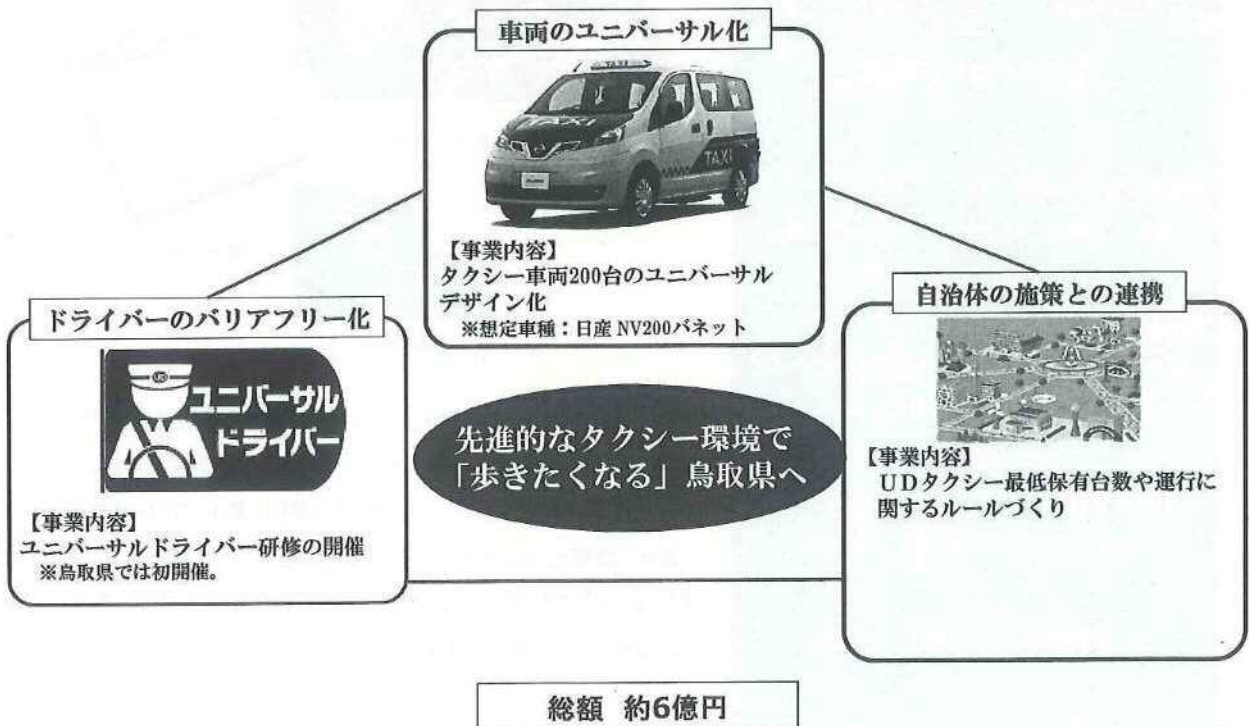
期待される成果

- ★障がい者スポーツ人口の増加
- ★障がい者スポーツの競技力向上
- ★障がい者スポーツ大会の誘致
- ★オリパラのキャンプ地の誘致

総額 約6億円

5. “地域交通のモデル”をつくる タクシーのユニバーサルデザイン化

県内を走るタクシー200台をユニバーサルデザイン化
誰もが移動しやすい、新たな公共交通のモデルを提案



工賃3倍増達成を通じて、活力を持って暮らせる福祉的就労環境の改善を実現する。
一般就労にて、地域産業を担う**就業者数1,000人以上の増加**を生み出す。



プロジェクトの推進

地域医療や地域生活サービス、あるいは障がい者が活躍できる社会システムを実現していくためには、それぞれの分野における高度な知識や経験が求められます。そのため、国内外の先進事例の視察を中心とした人材育成プログラムを展開します。またNPOをはじめとする、地域課題解決の担い手に対する助成プログラムも行います。さらに、こうした取り組みを全国にも発信していきます。

(総事業規模：約6.5億円/5年間)



人材育成プログラム



情報発信



助成プログラム


県内で地域課題の解決に取り組まれている自治体職員やNPO、医療、福祉、教育関係機関等の若手スタッフを対象とした人材育成プログラムを展開します。(総額：約3億円、約1,000名対象/5年間)

また、地域生活支援や地域医療、福祉といった課題に取り組まれているNPOや団体を対象とした助成プログラムを展開します。(総額約2億円、約100団体対象/5年間)

1,000名を対象に国内外の先進事例を学んで頂く機会を提供

県の職員はじめ、プロジェクトに関係される団体の若手リーダークラスを対象に、街づくりや福祉、医療等、今回実施しようとするプログラムに関連した国内外の最新事例を学んで頂くプログラム

「日本財団 鳥取人材育成プログラム」



・対象者:
県職員、19市町村の職員、NPO、福祉事業者、教育関係者等、今回の事業に関連する関係機関の若手リーダー(40歳未満)

・想定対象者数:
1,000人/5年

・プログラム内容:
国内外の先進事例の視察



県、自治体職員、NPOスタッフ等(約1,000人)

総額 約3億円



視察



研修



交流



公共交通や町づくりの先進事例
(アメリカ ポートランド、サンフランシスコ)



「日本財団在宅看護センター」起業家育成事業 開講式
「在宅看護センター」起業家育成プログラム (東京)



小児難病児と家族を支援する、複合医療サービスの先進事例
Helen & Douglas House(イギリス)

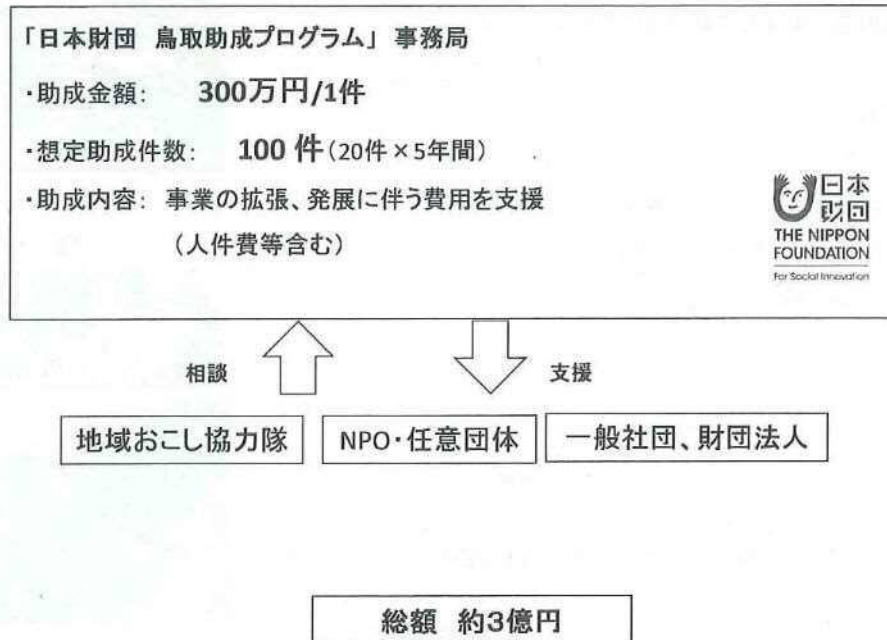


漁業交流、観光拠点の事例
(富山県氷見市)

8. “優れた活動の次のステージを応援” 日本財団 鳥取助成プログラム

プロジェクトの推進

NPOや地域おこし協力隊をはじめ、現地で活動する地域の担い手の新たなチャレンジを後押し
 新規事業の立ち上げや事業の拡張を支援。約100プロジェクトに対する支援を想定



14

9. “県の魅力の再発見・価値の創造” 情報発信

プロジェクトの推進

ネットとリアル、双方で県の魅力を再発見し、価値を創造する取り組みを行う。

今回、鳥取県と日本財団が連携して行う事業の発信はもちろん、鳥取県が持つ資源(観光地や農林水産物等)を、外からの視点で改めて編集し直し、魅力ある形で発信することで、ふるさと納税や移住定住の増加につなげていくことを狙う。



総額 約0.5億円

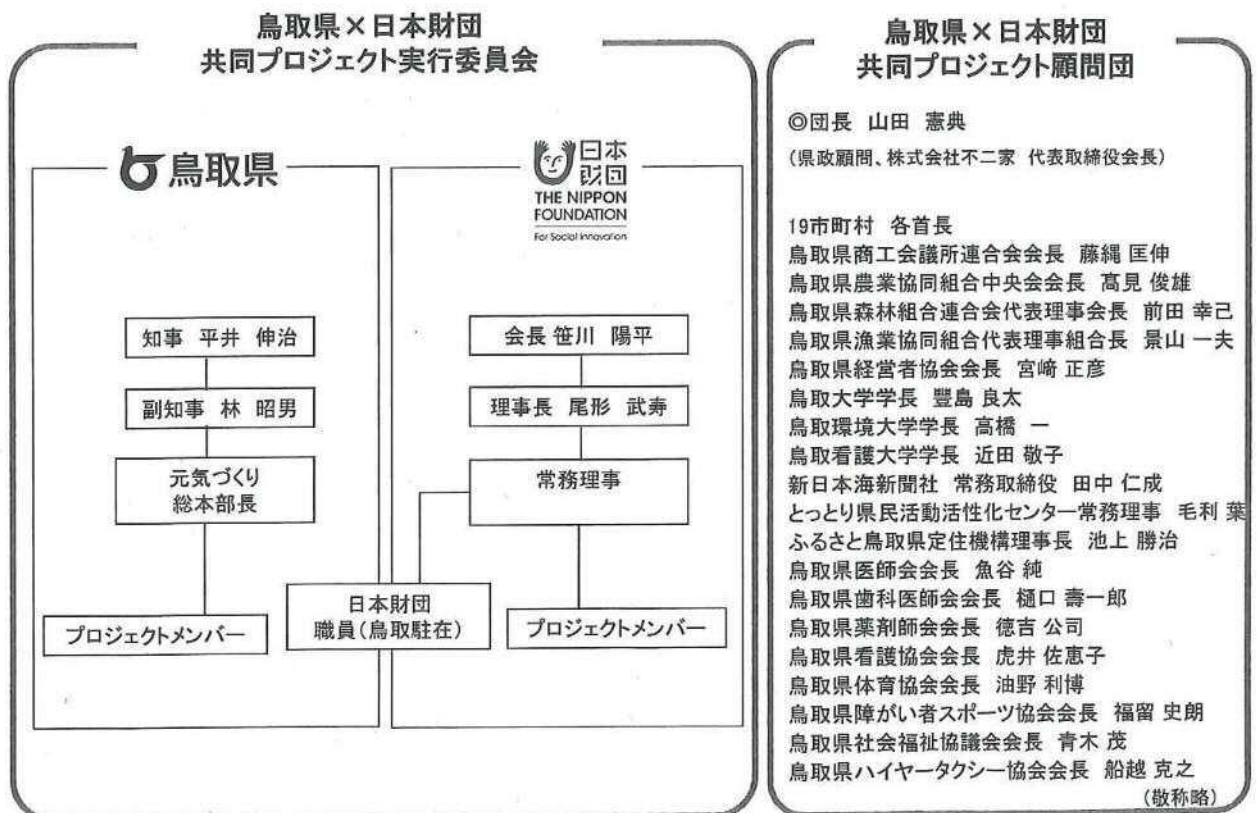
15

総事業規模

1. 中山間地域の生活支援	約5億円
2. 住民参加型の健康づくり	約0.5億円
3. 難病の子供と家族の地域生活支援	約3億円
4. 競技場のバリアフリー化	約6億円
5. タクシーのユニバーサルデザイン化	約6億円
6. 働く障がい者を増やす	約3億円
7. 日本財団 鳥取人材育成プログラム	約3億円
8. 日本財団 鳥取助成プログラム	約3億円
9. 情報発信	約0.5億円
合計	約30億円／5年間

16

実施体制



17

今後の用瀬町内の主な行事予定(2月以降)

平成28年2月15日現在

月	日	曜日	行事名	場所	主催等
2月	15日	月	用瀬地域振興会議	未定	用瀬地域振興会議
	16日	火	自治会長会	町民会館	用瀬町自治会長会
		火	確定申告受付開始 (3月15日まで)	南部地域各会場ほか	鳥取市
	28日	日	山歩き講座	用瀬町民会館	用瀬町エコツーリズム連絡会
3月	3日	木	童謡をうたう会	流しびなの館	実行委員会
	6日	日	あらゆる差別をなくする町民集会	用瀬町民会館	人権文化センター
	11日	金	千代南中学校卒業式	千代南中学校	千代南中学校
	18日	金	用瀬小学校卒業式	用瀬小学校	用瀬小学校
	21日	月・祝	春の川遊びフェスティバル	千代川	実行委員会
	24日	金	小中学校修了式	用瀬小学校・千代南中学校	用瀬小学校・千代南中学校
	26日	土	保育園卒園式	社・用瀬・大村保育園	社・用瀬・大村保育園
	27日	日	クリーンもちがせ	用瀬町内一円	各地区まちづくり協議会
4月	4日	月	保育園入園式	社・用瀬・大村保育園	社・用瀬・大村保育園
	7日	木	小中学校始業式	用瀬小学校・千代南中学校	用瀬小学校・千代南中学校
	8日	金	用瀬小学校入学式(午前)	用瀬小学校	用瀬小学校
			千代南中学校入学式(午後)	千代南中学校	千代南中学校
	9日	土	流しびな行事	千代川・ふれあい広場	実行委員会
	24日	日	用瀬山系トレイル交流大会	用瀬アルプス	実行委員会
	29日	金・祝	敬老祝賀会	用瀬町総合福祉センター	
	未定		用瀬地域振興会議	未定	用瀬地域振興会議
未定		自治会長会	町民会館	用瀬町自治会長会	
5月	15日	日	もちがせ流しびなマラニック大会	流しびなの館周辺	実行委員会
	21日	土	小学校運動会	用瀬小学校グラウンド	用瀬小学校
	未定		用瀬地域振興会議	未定	用瀬地域振興会議